

各都道府県後期高齢者医療広域連合事務局長 様

福島県後期高齢者医療広域連合事務局長
(公 印 省 略)

県内において発生した不審電話に関する情報提供について (通知)

平素より、当広域連合の事業運営につきましても、格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、全国各地において不審な電話が発生しておりますが、今般、管内におきまして下記のとおり不審な電話があり、被害も生じておりますので、情報提供いたします。
なお、今後も同様の事件が発生した場合は、情報提供をお願いいたします。

記

【事例1 (伊達市)】

1 内容

令和2年4月30日(木)～令和2年5月1日(金)にかけて、伊達市在住の被保険者宅に市職員を名乗る者から口座番号等の個人情報を読み出そうとする不審な電話が立て続けに発生し、伊達市に対し10件弱の問い合わせがあった。詳細は以下のとおり。

- ・国保年金課の職員を名乗る者から「振込がある。」
- ・国保年金課タカハシと名乗る者から「消費税が変わったことで、還付があるので出してほしい書類がある。」
- ・国保年金課イトウと名乗る者から「今回の給付金がらみでお金が戻る。電話だと早いので個人情報、口座番号、暗証番号等を教えてほしい。」
- ・国保年金課イトウと名乗る者から「給付金の締め切りが4月30日までだったが、口座番号を教えてもらえればすぐに手続きできる。」
- ・「自宅宛に封筒を送付している。還付があるので口座番号を書いて送ってほしい。」
- ・「書類が送られている。口座番号を教えてほしい。」
- ・金融機関職員を名乗る男2人が訪問し、「調べることがあるので、通帳を見せてほしい」「午後3時過ぎに返しに来る」などと言われ、通帳とキャッシュカードを手渡し、持ち去られた。

2 被害額

約15万円(1件)

3 対応内容

伊達市職員から被保険者に対し、伊達市からそのような電話はしていないこと、還付は発生していないことを説明の上、この様な電話があった場合は、個人情報を教えることのないようにすること、また警察にも相談するよう伝えた。

なお、伊達警察署と連携し伊達市から防災無線等で市内に注意喚起を行った。
広域連合としては、県内市町村の後期高齢者医療担当課等と情報を共有した。

【事例2（二本松市）】

1 内容

5月7日（木）午前10時頃～午前11時30分にかけて、市内の被保険者宅（複数名）に二本松市役所健康保険課職員を名乗る男性から、「消費税変更による、2万円ほど払い戻しがある。口座番号を教えてほしい。」との電話があった。電話を受けた被保険者が不審に思い、二本松市へ問い合わせをしたことにより、事案が判明した。

2 被害額

約230万円（2件）

3 対応内容

二本松市職員から被保険者に対し、還付すべき納金はないことから、不審電話の可能性が高く警察へ連絡するよう伝えた。なお、二本松警察署と連携し二本松市から防災無線等で市内に注意喚起を行った。

広域連合としては、県内市町村の後期高齢者医療担当課等と情報を共有した。

担 当：福島県後期高齢者医療広域連合 総務課 主査 渡部
T E L：024-528-9025 F A X：024-521-0254
E-mail：kouikirengou@fukushima.email.ne.jp